

| | | | |
|------------------|---|--------------|---|
| 授業科目名 (英文名) | 金融論 (経済学部・専門教育科目) (Monetary Economics) | 科目区分 対象学生 | |
| 単位数 | 4.0 | 開講年次・ 学期 | 2 |
| 担当教員 | 吉田 康志 | 所属 | |
| オフィス・場所 | | 連絡先 | |
| 講義目的及び到達目標 | <p>講義目的) 理論と制度の両面から金融の実態を把握することを通じて、受講者が社会人として最低限必要な「金融リテラシー」を身につけることを目指す。</p> <p>到達目標) 学生が、現代の金融制度の仕組みについて説明できるようになるとともに、ファイナンスに関する知識を実際の資産運用に応用できるようになること。</p> | | |
| 講義内容・授業計画 | <p>講義内容 我が国の金融システムについて、その構成要素に関する説明を積み重ねていくことで全体を描き出していく。これと並行して、基礎的なファイナンスに関する説明も行う。(金融実務者による講演も実施する予定。)</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 導入 (講義の進め方) 2 1.資金の流れ 貨幣とは 3 1.資金の流れ 通貨の種類 4 1.資金の流れ 社会における資金の流れ 5 1.資金の流れ 財政 6 ファイナンスの基礎 貨幣の時間的価値 7 2.金融機関 競争制限規制 8 2.金融機関 護送船団行政 9 2.金融機関 銀行 - 信託銀行 72法則 10 2.金融機関 協同組織金融機関 - ノンバンク 11 2.金融機関 ゆうちょ 12 2.金融機関 財政投融資 13 2.金融機関 金融機関の機能 14 ゲストによる講演 15 ファイナンスの基礎 割引とNPV 16 3.消費者と金融 貯蓄決定 17 3.消費者と金融 預金保険 18 4.企業と金融 目的、資金 19 4.企業と金融 社債 20 4.企業と金融 中小企業金融 21 4.企業と金融 資本構成 22 4.企業と金融 メインバンク 23 5.金融市場 24 6.金融政策 25 ファイナンスの基礎 アンニュイティ 26 7.不良債権 27 8.デリバティブ 28 9.地域金融 29 10.金融の新しい動き まとめ 30 評価 (到達度の確認) | | |
| テキスト | 特定のテキストは指定しない。授業に先立ってハンドアウトを用意し、配布する。 | | |
| 参考文献 | <p>講義全体の理解のために参考となるべき文献を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩田規久男『金融入門』(岩波新書) 岩波書店 (学術情報館にあり) ・池尾和人『現代の金融入門 [新版]』(ちくま新書) 筑摩書房 (1996年版は学術情報館にあり) | | |

| | |
|-------------|--|
| 成績評価の基準・方法 | <p>成績評価の基準) 金融システムに関する基礎的な事項を理解し、かつファイナンスに関する基礎的な計算ができる者に単位を授与する。また、達成目標の到達度合いに応じてAからCまでの成績を与える。</p> <p>成績評価の方法) 定期試験90%、その他(小テスト、レポート等) 10%を基準として、講義態度を含めて総合的に評価する。</p> |
| 履修上の注意・履修要件 | <p>高校で履修する政治経済程度の知識があることが望ましい。</p> |
| 実践的教育 | <p>該当しない</p> |
| 備考 | <p>履修者は、普段から金融に関する報道等に対して高い関心を持って接することが望ましい。</p> |